

ご挨拶



新潟原動機株式会社
代表取締役社長
犀川 淳一

昨年は、3月11日の東日本大震災により、多くの命が失われ、漁業をはじめとして産業界も大きな被害をこうむった年となりました。復興にむけて東北各地に納入の非常用エンジンの復旧・修繕工事や、新しい漁船の建造など、弊社としても出来る限りの支援をしていく所存でおります。

弊社には、原発向けに納入している100台以上の非常用発電ディーゼルがありますが、それらが問題なく稼働できるように、メンテナンス上の管理強化や社内体制含めた見直しを実施し、さらなる信頼性向上に努めています。

一方、今後のエネルギー政策の見直しにも対応できるよう、昨年のこの場でご紹介した、環境対応型船用中速ディーゼルエンジン28AHXをV型機関へ展開し、火花点火式ガスエンジン28AGSのシリーズ化を進めるとともに、ガスタービンではNGT3型機関のデュアルフューエル化など、製品自体の省エネ化とCO₂削減を推進し、社会のニーズに応じていきます。

今年度から、中期5か年計画「ジャンプNIIGATA 2011」がスタートしました。キャッチフレーズは「強みを磨き、弱みを変革し、次の成長へ」です。経営環境の変化に迅速に対応しながら、力を合わせて次の成長のための夢の実現に向けて踏み出しています。コンプライアンスは、企業が社会的責任を果たすことですが、地域の方々、取引先、お客様などあらゆる皆様からの社会的要請に応じて、信頼される企業になることだと考えております。

今後とも弊社の活動に対しまして、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。